

《第2回県内在住外国人支援に関する基礎調査（市町）》

兵庫県

（公財） 兵庫県国際交流協会

兵庫県では、日本語学習を必要とする外国人県民が身近な生活圏で日常生活に必要な日本語力を身につけられる日本語教育の体制を整備するため、令和元年度より5か年計画で地域日本語教育の総合的な体制づくり事業を行っております。

事業開始に先立ち、平成30年に「第1回県内在住外国人支援に関する基礎調査」を実施し、各市町で取り組んでおられる多文化共生施策や日本語教育事業の状況や課題について取りまとめ、その結果をもとに事業を展開して参りました。

このたび、これまでの事業結果を検証するとともに、県内の状況や課題を把握し、令和6年度以降の事業展開の基点とするため、標記の第2回基礎調査を行うこととしました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この調査と並行して、貴市町内の日本語教室（別紙教室一覧のとおり）にも地域日本語教育に関する基礎調査を依頼しておりますので、別添の参考資料等もご参照いただければ幸いです。

回答の方法

- ・ 令和5年6月末現在の状況についてお答えください。
- ・ それぞれの問の下に、回答欄を設定してありますので、それぞれご記入をお願いいたします。
- ・ 選択式の問は、回答欄に、あてはまる選択肢の数字をお書きください。

| | |
|-------|--|
| 市町名 | |
| 担当課名 | |
| 担当者名 | |
| Tel | |
| Email | |

【問1】 貴市町には日本語教育に関する基本方針等がありますか。

※令和元年に施行された「日本語教育の推進に関する法律」において、地方公共団体は地域の実情に応じ、地方公共団体における日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした、基本的な方針を定めるよう努めることと明記されています。（第11条）

参考資料『地域における日本語教育の在り方について（報告）』

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93798801_01.pdf

- (1) 1. ある 2. 多文化共生施策の中に日本語教育に関する基本方針を含んでいる
3. 現在はないが、今後策定予定 4. 策定の予定はない 5. その他

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 1. 2. の場合＝策定期、3. の場合＝策定予定年度、5. の場合＝自由記述

| |
|--|
| |
|--|

【問2】外国人支援施策をご担当の職員数について伺います。

※所属長を除く。兼務の場合は従事時間の割合に応じて0.5人等と記載してください。

(1)

| | |
|-------|---|
| 正規職員 | 人 |
| 非正規職員 | 人 |
| 合計 | 人 |

(2) 外国人支援施策を国際交流協会等への委託により実施されている場合

※所属長を除き、貴市町で人件費を負担している職員数を記載してください。

| |
|--------|
| 実施団体名： |
|--------|

| | |
|--------|---|
| 市町派遣職員 | 人 |
| プロパー職員 | 人 |
| 非正規職員 | 人 |
| 合計 | 人 |

【問3】地域日本語教育コーディネーターの配置についてお聞きします。

*地域日本語教育コーディネーターの役割

(『地域における日本語教育の在り方について(報告)』令和4年11月 文化審議会国語分科会より)

日本語教育プログラムの策定・実施運営及び改善／日本語教師及び日本語学習支援者に対する指導・助言／日本語教師及び日本語学習支援者の養成・研修の企画立案／多様な機関と連携・協働し日本語学習者の学びや日本語教育を通じた社会参加を促進するための活動のデザイン

(1) 貴市町(国際交流協会を含む)には、地域日本語教育コーディネーター*、もしくは、そのような役割を担っている方がいますか。

1. 地域日本語教育コーディネーターがいる
2. 地域日本語教育コーディネーターに近い役割を担う人がいる
3. いない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 1、2と回答した場合、その業務はどのような方が担当していますか。

1. 日本語教室実施主体の職員(市町、国際交流協会、NPO)で、日本語教育関連事業専従
2. 日本語教室実施主体の職員(市町、国際交流協会、NPO)で、他の業務と兼務
3. 日本語学習支援者で、コーディネーター業務に対して報酬が支払われている
4. 日本語学習支援者で、コーディネーター業務に対して報酬が支払われていない
5. その他 (自由記述)

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(3) その方は、下記のいずれかに該当しますか。(複数回答可)

1. 文化庁地域日本語教育コーディネーター研修修了者
2. HIA 主催コーディネーター研修受講者
3. 有資格者の日本語教師*
4. 該当しない

| | | | | |
|-----|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | |
|-----|--|--|--|--|

*有資格者とは、右記のいずれかを満たす方を指します。

- ・ 大学で日本語教育を主専攻または副専攻として修了した人
- ・ 日本語教育能力検定試験に合格した人
- ・ 日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

【問4】 域内の外国人住民居住実態把握についてお聞きします。

(1) どの地域にどんな方がいるか、どの程度把握していますか。(複数回答可)

1. 特定の地域についてのみ把握できている
2. 特定の国籍の外国人住民についてのみ把握できている
3. 学校に通っている児童生徒について把握できている
4. 管内企業・事業所の従業員について把握できている
5. 留学生について把握できている
6. 身分系の在留資格者（日本人の配偶者等、永住者、永住者の配偶者等、定住者）について把握できている
7. あまり把握できていない

| | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|

(2) 上記(1)について、把握できているのは外国人住民数の何割程度ですか。

1. 2割未満
2. 2割～4割
3. 4割～6割
4. 6割～8割
5. 8割以上

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

【問5】 日本語学習支援が必要な外国人住民は令和元年度と比較して変化していますか。

1. 増加
2. 大きな変化なし
3. 減少
4. わからない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

【問6】 貴市町の外国人支援や多文化共生のための事業に対する今年度の予算についてお聞きします。

(1)

| |
|-------|
| 当初予算額 |
| 千円 |

| |
|---------------------|
| うち、日本語教育事業のための当初予算額 |
| 千円 |

(2) 令和元年度日本語教育推進法施行後、日本語教育に関する予算はどう変わりましたか。

1. 増加 2. 大きな変化なし 3. 減少

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

| | |
|-----------------|----|
| 1. 3. の場合、増減の規模 | 千円 |
|-----------------|----|

(3) 今後、予算の増額、または、新規事業の開始を検討していますか。

1. はい 2. いいえ

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

1. の場合、

| | | | | |
|-----|------|--|----------|----|
| 回答欄 | 予算増額 | | 増額予定規模 | 千円 |
| | 新規事業 | | 具体的な事業内容 | |

(4) 兵庫県国際交流協会が令和3年度より実施している「市町日本語教育体制づくり事業」(文化庁の間接補助事業として経費2分の1以内の金額を補助することができる)について伺います。

1. 既に活用している
 2. 知っているが活用していない
 3. 知らなかったが活用を検討したい
 4. 活用の予定はない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

【問7】 貴市町における外国人対象日本語教室数についてお聞きします。

(1) 教室数は開催回数ではなく、実施団体数をお書きください。

| 運営主体 | 成人対象日本語教室数 | 子ども対象日本語教室数 |
|--------|------------|-------------|
| 貴市町 | | |
| 国際交流協会 | | |
| 民間団体 | | |

(2) 上記のうち、有資格者*の日本語教師(【問3】(3)内の注参照)に講師謝金を払って開講している日本語教室がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(3) 1. と回答した場合、日本語教師数をお書きください。

| | | | | |
|-----------|---|---|-------------|---|
| 成人対象日本語教室 | : | 人 | 子ども対象日本語教室: | 人 |
|-----------|---|---|-------------|---|

【問8】 域内の日本語教室の状況把握についてお聞きします。

(1) 貴市町では、域内の日本語教室に連絡をとって情報収集したり、意見交換を行ったりし

ていますか。

1. 行っている 2. 行っていない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 1. と回答した場合、市町内の教室の運営状況、直近の課題などについて具体的にお書きください。

| |
|--|
| |
|--|

【問9】 関係機関との連携についてお聞きします。

(1) 日本語教育・日本語学習支援に関して、連携・協力している団体・組織（行政、国際交流協会、教育委員会、日本語教室、企業、大学等の教育機関、NPO など）がありますか。

1. ある 2. ない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 1. と回答した場合、具体的な内容をご記入ください。（欄が足りない場合は、適宜、追加してください。）

| 連携や協力先 | 内容（例：補助、委託、減免、意見交換会、研修、相談等） |
|--------|-----------------------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

【問10】 地域の日本語教室はどのような場であるとお考えですか（上位5つまで選択可）

1. 外国人住民が日常生活に必要な日本語を学ぶ場
2. 外国人住民が仕事に必要な日本語を身につける場
3. 外国人住民が日本語能力試験合格に必要な日本語能力を獲得する場
4. 外国人住民が地域での生活マナーやルールを理解する場
5. 外国人住民の居場所
6. 外国人住民と地域社会の接点
7. 外国人住民と日本人住民の交流の場
8. 外国人住民同士の交流の場

9. 外国人住民への情報提供の場
10. 外国人住民にとっての災害時の情報拠点
11. 外国人住民にとっての生活相談・課題解決の場
12. 日本人住民の地域活動参加の機会提供の場
13. 日本人住民の多文化理解の促進の場
14. 日本人住民の居場所
15. その他

(自由記述)

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|

【問 11】外国人住民に対する日本語教育において、貴市町が取り組んでおられること、あるいは、すでに取り組まれたことを下記から選んでください。(複数回答可)

1. 外国人住民の状況把握
2. 日本語教育に関する基本的な方針や計画の策定
3. 地域の実情に合わせた日本語教育の内容・方法の編成・実施
4. 日本語教室の設置（運営または委託）
5. 教室を運営する団体等への助成金や補助金の交付
6. 教室を運営する団体への運営サポート（広報、会場確保等）
7. 日本語教育の専門性を持つ人材（地域日本語教育コーディネーター、日本語教師等）の活用
8. 学習希望者への教室や学習方法の紹介
9. 学習支援者の養成
10. 市町内外の有益な情報やリソースの収集及び提供
11. 市町内外でのネットワーク構築
12. 企業との連携促進
13. 日本語教育機関との連携促進
14. 地域住民の理解と関心の増進
15. その他

(自由記述)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

【問 12】外国人住民に対する日本語教育において、今後、貴市町ではどのような取り組みが必要とお考えですか。(複数回答可)

1. 外国人住民の状況把握
2. 日本語教育に関する基本的な方針や計画の策定
3. 地域の実情に合わせた日本語教育の内容・方法の編成・実施
4. 日本語教室の設置（運営または委託）
5. 教室を運営する団体等への助成金や補助金の交付
6. 教室を運営する団体への運営サポート（広報、会場確保等）
7. 日本語教育の専門性を持つ人材（地域日本語教育コーディネーター、日本語教師等）の活用
8. 学習希望者への教室や学習方法の紹介

9. 学習支援者の養成
10. 市町内外の有益な情報やリソースの収集及び提供
11. 市町内外でのネットワーク構築
12. 企業との連携促進
13. 日本語教育機関との連携促進
14. 地域住民の理解と関心の増進
15. その他

| |
|--------|
| (自由記述) |
|--------|

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

【問 13】 貴市町が日本語学習を希望する外国人に日本語を学ぶ機会を提供する上で、国や県等に求めたい支援はどのようなものですか。(上位5つまで選択)

1. 日本語教育事業全体への財政的支援
2. 日本語教室の拡充や新規開設に向けた伴走支援
3. 日本語教育推進のための協議会等の設置
4. 他団体との連携の橋渡し・ネットワークづくり
5. 有資格の日本語教師の派遣
6. 日本語教育の専門家によるアドバイス
7. 学習支援者の養成・研修
8. 日本語教材の開発・配布
9. 日本語教室の広報
10. 県内外の市町で取り組んでいる先進事例の紹介
11. その他

| |
|--------|
| (自由記述) |
|--------|

| | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|
| 回答欄 | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|

【問 14】 地域日本語教育の充実に向けて提供されている下記のコンテンツや情報について、お聞きします。

① 文化庁 日本語教育に関する調査の共通利用項目について
<https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/examination>

(1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない

4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

② 文化庁「日本語教育コンテンツ共有システム (NEWS)」

<https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/>

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

③ 文化庁 「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながる ひろがる にほんごでの暮らし」

https://tsunagarujp.bunka.go.jp/assets/download/pamphlet_jp_202303.pdf

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

④ 文化庁 日本語能力自己評価ツール「にほんごチェック」

<https://www.nihongo-check.bunka.go.jp/>

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない

4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

⑤ HIA 「役に立つ教材・情報」

<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/kyozai/index.html>

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

⑥ 文化庁 「日本語教育の参照枠」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/kokugo/kokugo_80/pdf/93677801_04.pdf

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

⑦ 文化庁 「生活 can do」

https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/information/framework_of_reference#life

- (1) 1. 知っている 2. 知らなかった

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している

3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

| | |
|-----|--|
| 回答欄 | |
|-----|--|

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。